＜研究論文／事例研究論文／展望・総説論文＞

大学教育学会誌原稿テンプレート

執筆者・連名者の氏名と所属は記入せずにその分の余白を空けてください。

氏名と所属は投稿時にウェブ上で記入してください。

Formatting Japanese Manuscript for Journals

英文の執筆者・連名者の氏名と所属は記入せずにその分の余白を空けてください。

英文の氏名と所属は投稿時にウェブ上で記入してください。

This template is prepared for your preparation of manuscript for our journal. It provides instructions: page layout and others. If you replace the relevant text with your own by using “cut & paste,” you can make your manuscript easily.

The English Abstract should be justified, leaving a 20 mm margin on the left and right sides. Font should be a 10-point Century. The length should be about 300 words.

〔キーワード：大学，学会，高等教育，単位制度，授業〕

1．タイトルページ

タイトルページは2つの部分で構成されます．

(1) タイトル部分

タイトル部分は，横1段組（表題，氏名，所属，英文表題，英文氏名，英文所属，英文抄録）としてください．ただし，氏名と所属（英文も含む）は採録決定後に記載することとし，それまではその分の余白を空けてください（フォントカラーを白にする方法は不可．以下，投稿者の分かる情報を伏せる場合はすべて同様）．

なお，執筆者に非会員や団体会員が含まれる場合は，採録決定後にタイトルページの注にてその旨を明記してください。

(2) 本文部分

本文部分から横2段組になりますが，冒頭にキーワード5～7語をつけます．上記例参照．

本文は，コンマとピリオドを使用します．フォントは，日本語はMS明朝，英数字はCentury（半角）を使用します．文字サイズは，10ポイントを使用します．

本誌は，タイトル，英文抄録部分を除き，本文部分から2段組とします．

「拙著」「拙稿」などの表現，また投稿者や執筆者が容易に推測されるような表現は控えてください．なお，自著の引用等により，投稿者や執筆者が推測されるような記載をどうしてもせざるをえない場合は，引用における著者名を伏せてください．

2．見出しの書式

見出しは，章，節，項の3段階までとします．見出しはすべてゴシック体を用います．

(1) 章の見出し

章の見出しは，「文献」のみセンタリング，他はすべて左寄せとします．「はじめに」と「おわりに」以外の見出しには，アラビア数字（半角）で番号を付けます．

(2) 節の見出し

節の見出しには，半角の両括弧にアラビア数字（半角）で番号を付けます．

(3) 項の見出し

できるだけ見出しは，章と節の2段階にしますが，必要な場合は，項の見出しとして，1)など半括弧にアラビア数字（半角）で番号を付けます．

3．注，文献および謝辞

注，文献および謝辞は，本文の後に一括します．

本文中での文献の指示は，著者名・刊行年次を小括弧に入れて示します．たとえば，「…（小笠原，2004；飯吉，2001）」，「絹川・館（2004）は…」など．外国人名は原語で表記します．たとえば，「Barr & Tagg (1995)では…」，「…(Entwistle et al., 2010)」など．

(1) 注

注は必要最小限にとどめるものとしますが，注を付す場合，本文の該当箇所に上付きで番号を付け，文献の前にまとめて記載します．

(2) 文献

文献は著者姓のアルファベット順とし，番号は付けません．記載方法は，本テンプレートの「文献」の箇所を参照してください．

なお，引用において著者名を伏せたものについては，文献においても同様としてください．

(3) 謝辞

謝辞は論文の最後に記載します．ただし，投稿時には謝辞は付さず余白とし，採録決定後に挿入してください．

4．図および表

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします．原稿末尾にまとめたりしてはいけません．

図表の幅は，1段または2段のいずれかとし，両脇に余白が生じても文字を入れないようにします．

図および表には，通し番号を付し，表の表題は表の上部に，図の表題は図の下部に記します．なお，図および表が一つの場合にも，図1または表1と記します．

図表と文章本体との間には1行の空白を設けて区別を明確にします．

5．文章表現

和文は，常用漢字，現代仮名遣いを用います．

数字は，熟語・成語に含まれるもの以外は，アラビア数字（半角）を用います．

略語は，一般的に用いられているものに限ります．まぎらわしい略語には，初出の際に原語と日本語の訳語を小括弧で示してください．

外国人名は，通常カタカナ書きとし，初出の際に原語を小括弧で付してください．

文献

（例）

＜単行本の場合＞

Barkley, E. F. (2010). *Student engagement techniques: A handbook for college professors*. San Francisco, CA: Jossey-Bass.

（順番に，著者名，発行年，書名(イタリック体)，発行所(発行地)）

大学教育学会25年史編纂委員会編 (2004)『あたらしい教養教育をめざして』東信堂.

（順番に，著者名，発行年，書名(二重カギ括弧)，発行所）

＜単行本の特定の章の場合＞

Entwistle, N., McCune, V., & Walker, P. (2010). Conceptions, styles, and approaches within higher education: Analytic abstractions and everyday experience. In R. J. Sternberg, & L. F. Zhang (Eds.), *Perspectives on thinking, learning, and cognitive styles* (pp.103-136). New York: Routledge.

（順番に，章の著者名，発行年，章の題目，収録されている単行本の編者名，書名(イタリック体)，掲載ページ，発行所(発行地)）

小笠原正明 (2004)「1990年代の大学および大学院改革」　絹川正吉・館昭編著『学士課程教育の改革』東信堂，pp.71-104.

（順番に，章の著者名，発行年，章の題目(一重カギ括弧)，収録されている単行本の編者名，書名(二重カギ括弧)，発行所，掲載ページ）

＜雑誌論文の場合＞

Barr, R. B., & Tagg, J. (1995). From teaching to learning: A new paradigm for undergraduate education. *Change*, *27(*6), 12-25.

（順番に，著者名，発行年，論文題目，雑誌名(イタリック体)，巻(号)数(巻数はイタリック体)，掲載ページ(ppは不要)）

飯吉弘子 (2001)「戦後日本産業界の『能力観』と『人材養成』要求－経済団体の高等教育改革提言の歴史的分析－」『大学教育学会誌』23(2)，121-128.

（順番に，著者名，発行年，論文題目(一重カギ括弧)，雑誌名(二重カギ括弧)，巻(号)数，掲載ページ(ppは不要)．なお，複数の和文著者名は「・」でつなぐ）

＜翻訳書の場合＞

Wiggins, G., & McTighe, J. (2005). *Understanding by design (Expanded 2nd ed.)*. Alexandria, VA: Association for Supervision and Curriculum Development. G・ウィギンズ，J・マクタイ (西岡加名恵訳) (2012)『理解をもたらすカリキュラム設計－「逆向き設計」の理論と方法－』日本標準.

（順番に，原著者名，発行年，書名(イタリック体)，発行所(発行地)，原著者名(カナ名)，訳者名，翻訳書発行年，翻訳書名，翻訳書の発行所）

＜インターネットからの引用の場合＞

中央教育審議会 (2012)『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて－生涯学び続け，主体的に考える力を育成する大学へ－(答申)』(http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm) (2016年3月30日)

（順番に，著者名，ページのタイトル，URL，引用者の最新アクセス日）